

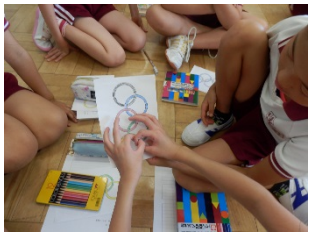


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県郡山市 】

学校名【 郡山市立芳山小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	5年生57名、6年生40名。
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	自らオリンピック種目について調べたり、外部講師の講話を聴いたりすることで、オリンピックに対する興味関心を高めながら、国際理解・協力の意義の理解を深める。
5 取組内容	<p>1時目「オリンピックシンボルを知り、その重要性を理解する」</p> <p>○オリンピックリングの色を塗ろう オリンピックリングの色、配置、意味について知る。オリンピズムの本質的価値について知る。</p> <p>こんなに深い意味があったなんて知らなかった。テレビで見たことしかなかったので、少し興味がわきました。オリンピックの種目について調べたいです。</p> <p>2時目「東京2020オリンピック実施予定競技、実施会場について理解する。」</p> <p>○オリンピック予定競技全34種類を当てよう。 ○競技会場はどこかな。</p>   

こんなに種目があるなんて知らなかったです。適当に言った種目が当たってびっくりして「これも種目なの！」と驚きました。冬の競技にも興味がわきました。

3時目「オリンピックの歴史を知ろう」

○古代オリンピックと近代のオリンピックを比較し、種目の違いだけでなく、現代のオリンピックに関連する内容について理解する。

昔の競技は、今とは全然違って種目が少ないことに驚きました。スタディオン走は、今の100メートル走みたい。幅跳びでは昔は石を持って跳んでいたことに驚いた。「平和の祭典」という共通点がわかった。

4時目「近代オリンピックの歩みを知ろう」

○オリンピッククイズに取り組む。(江上先生より資料をいただきました)

○近代オリンピックの開催都市を知り、日本の開催回数は世界で3番目に多いことを知る。

○ホスト国としてどんな振る舞いが必要か考える。

ホスト国として、しっかり各国の方々をお招きしたい。でも、どんなおもてなしが必要なかわからない。江上先生の講義が楽しみになりました。(多数)



5時目「江上先生に学ぼう～グローバルマナーとおもてなしの心～」

○おもてなしの身だしなみ、あいさつ、握手の仕方、各国の文化について体験しながら理解する。

○やさしい日本人、教師の話を聞き、夢や希望を大切にす。

ぼくは、今日江上先生の話聞いて、「100-1=99ではなく0になってしまう」という言葉が一番かっこいいなと思いました。理由は一人の行動で、100人全員の印象が決まってしまうことがあるからです。常にこの言葉を頭に入れて行動したいです。

私は「おもてなしの5原則」が印象に残りました。CAさんの笑声がとてもすごかったです。今日学んだことを生かして、オリンピック・パラリンピックホスト国としてのお・も・て・な・しをしたいです。



	<p>私は将来外国人のような、だれにでも「ありがとう」を伝えられる大人になりたいです。</p> <p>6時目～10時目は追究活動。 今までの学習から自分が興味関心をもった内容について調べる。 11時目は発表会。 ロイロノートを生かして発表会を開く。</p>
6 主な成果	<p>オリンピックに対しての興味・関心が高まっただけではなく、それぞれの子どもたちが授業や講演をきっかけに追究したいことを決め、進んで調べる姿が見られた。追究する中で、東京オリンピック2020のメダルの作り方が環境に配慮されていることなど、競技への興味・関心だけではなく、競技を支える人々への関心や、それまでの歴史的背景・伝統など、子どもたちなりに広い視野で考えることができていた。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>江上先生の講演に合わせて、東京オリンピック2020への興味関心を高めた。オリンピズム、歴史、開催国の変遷、開催都市、フェアプレー精神などについての授業を行い、ホスト国としての在り方についての見通しをもたせた。</p>
8主な課題等	<p>子どもたちが追究してきた内容を発表する場の確保。授業参観や学習発表会、児童会での行事との関連を図り、目的意識や相手意識をもった活動にしていくこと。ロイロノートを使うなど、発表の方法も学校の実態に合わせて工夫していくこと。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>今後、継続して同じ学年の子どもたちが行うか、新たな学年が行うか、検討中。</p>